

本庁係長

新米係長として



国税庁 課税部
法人課税課 調査企画係 係長

小池 菜穂 令和2年入庁

私の仕事

経済活動のグローバル化に伴い、国境を越えた取引を行う企業は増加しています。私の所属する調査企画係は、そうした海外取引を行う企業に対し適切な課税を行うための施策の企画・立案を担当しています。海外取引を行う企業の調査では、取引先が国外に所在することから取引内容の事実確認が難しく、各国の税法の理解が求められる等、通常の調査とは異なる課題が生じます。こうした現場の職員の課題を解決するため、租税条約に基づいて海外の税務当局から提供される情報の活用やデータに基づいた調査体制の構築等、制度・運営上の課題を解決するため、日々奮闘しています。

多様な経験

国税庁では、納税者へ税に関する正しい知識を伝えるため、外部の民間団体の協力を得て、積極的な周知・広報に取り組んでいます。私はこのような外部団体の窓口も担当しているのですが、税知識の普及に尽力してくださる方々の熱い思いを何う度、「適正な申告納税制度の実現」という国税庁の使命の重要性を身に染みて感じます。国税庁へ入庁後、前述の業務のほかに、国際会議への参加や税務署における税務調査、確定申告会場での相談対応等、多様な業務を経験する機会に恵まれました。「税」を軸にして多岐に渡る業務に携わることができるのは、国税庁総合職の魅力の一つだと思います。

学生の皆さんへ

総合職として採用されると、様々な分野や立場で仕事をする機会があります。今まで携わったことがない分野の業務に取り組む時は、経験や知識不足でいつも苦労しますが、困難な課題を一つ一つ解決していく度、自身の視野の広がりや成長を実感できます。また、行政の根幹を支える国税庁の一員として働くことは、社会への貢献に繋がるともやりがいのあるものだと思います。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



本庁係長

**「税」という「軸」を持ち
多様なキャリアを歩む**



国税庁 課税部
個人課税課 監理第2係 係長

渡辺 進 平成30年入庁

現在の仕事

私は、現在、個人事業主の方が正しく記帳できるようなサポート環境の整備や、青色申告の普及に向けた業務などを担当しています。このような記帳水準の向上や青色申告の普及、ひいては「適正かつ公正な賦課及び徴収」を実現するためには、国税組織の力だけでは限界があります。そのため、青色申告会をはじめとした外部団体にも協力いただきながら、税に関する情報が納税者に的確に伝わるよう、説明会等を実施しています。特に、昨今、インボイス制度の導入や電子帳簿保存法の改正など納税環境が著しく変化しており、事業者等に分かりやすく周知広報し、更には的確なサポート体制を構築することの重要性が増しています。入庁2年目には税務署、3年目には国税局でも勤務させていただき、身を持って最前線の現場における課題等を感じることができました。今はその経験も活かしつつどのような取組が有効かを考えながら業務に取り組んでいます。

国税庁の魅力

国税庁と聞いてどのような仕事をイメージされるでしょうか。税務調査や確定申告などはイメージしやすいかもしれませんが、「税」は幅広く経済・社会・行政と結びついているため、その活動領域は計り知れません。かく言う私も、入庁1年目で配属された総務課では、他省庁との連絡調整のほか、改元対応、災害対応等に従事するなど、一見「税」とは縁

遠いような業務にも携わりました。諸先輩方を見ても、「税」という軸を持ちながら、庁内で様々な業務に従事される方や他省庁へ出向される方が多くいらっしゃいます。学生の頃、「[税]という軸を持ちながら、様々なフィールドで活躍できる」という先輩の言葉に惹かれ、入庁することを志しましたが、日々刻一刻と変化する現代社会において「軸」があることは大きな強みであると、働く中で改めて感じています。日々新しいことに触れ、勉強の毎日ですが、同期、同僚にも恵まれ、刺激的で充実した日々を過ごしています。国税庁に少しでも興味を持たれた方は、ぜひ一度説明会に足を運んでいただき、国税庁の魅力をさらに知っていただければと思います。

